

イギリスは4～5月でやっと春らしくなり、おそらく一年で一番綺麗な季節になっています。エクセターは自然が豊かなところなので、今の時期はそこらじゅうに綺麗な花が咲いていて、その周りを走り回るリスやウサギを見ることができてとても楽しいです。また、冬の間は4時台に真っ暗になっていたのに、今はもう夜の10時くらいまで明るくなっています。気候的には、厚手の長袖やニットを着る日もまだあるくらい涼しくとても過ごしやすいです。

イギリスの大学は基本的に3月末までの授業学期が終わると4月にイースターの休暇が1ヶ月間あり、5月から大体6月前半までテスト学期という流れです。私は4月の間に友人たちとロンドンに旅行に行ったり、5月初めに提出のエッセイがあったので勉強して過ごしました。エッセイはレポートのようなもので、字数は2～3000字程度なのですが、現地の学生と同じように評価される専門の授業用のエッセイを書くには、内容の面でも英語の面でもとても苦労しました。また、こちらの大学はかなり剽窃に対して厳しく、文献の使い方や引用方法などを注意しなければなりません。システムも日本とは違って、オンラインで匿名で提出する仕組みなのが面白いと思います。

私は今学期はテストがなかったのですが、5月のエッセイ提出が終わった後、今学期の全ての授業が終わりました。授業を振り返ってみると、途中で逃げ出さずに頑張れたので良かったのですが、かなり苦しい毎日だったと思います。現地の学生に比べ英語力が足りないことに加え、私が取っていたヨーロッパ文学の授業では、ヨーロッパの文化や歴史に対する背景知識が圧倒的に少ないのでとても大変でした。授業への貢献や課題の出来を見ても満足のものではなかったので、次のタームは結果を見ても良かったと思えるようにしたいです。どの学生も大体5月の後半までには全てのテストや課題の提出が終わるので、次のタームが始まる9月の中旬までイギリスの大学は約3～4ヶ月非常に長い休みがあります。私も長い休みに入ったので次の学期のための良い準備期間にしたいです。

次に、エクセター大学での学生生活について少し紹介したいと思います。まずはソサエティ(Society)についてです。ソサエティは日本の大学でいうサークルと同好会を合わせたようなもので多くの学生が複数のソサエティに所属しています。スポーツ系や文化系のソサエティに加え、国ごとのソサエティやコーヒーソサエティ、ハリーポッターソサエティなど趣味の延長のようなものもあります。また、エクセター大学に来て驚いたことは学生達主体の活動が非常に活発だということです。例えば映画ソサエティがキャンパスシネマという映画の上映会を主催していて、毎週新作の映画をキャンパス内のシアターで安く見ることができます。他にもイスラム系のソサエティが大使を呼んで講演会を開いたりなど学生が主催しているイベントの規模が大きいところに驚きました。また、学生の作る新聞も学内で毎週配られたり、政治や社会に関する活動も学内で活発に行われているのが日本ではあまり見られないところだと思います。私は今学期は生活と勉強に慣れることに精一杯でソサエティに入ったり、授業外の活動に参加したりすることができなかったので、次の学期は何か挑戦してみたいです。



※学内で咲いている花・ウサギ



※午後10時頃の大学の様子